

目標設定について

犬山市観光戦略では 20 年先の目指すべき観光地の姿を見据え、これからの 10 年間で観光政策を展開していく上で、3つの基本理念に基づいた目標指標を設定し、計画的に施策を推進し、観光まちづくりの将来像「犬山らしさを磨き、ずっといたくなる、みんなでつくる・みんなのための観光」の実現を目指していく。

それぞれの指標の目標値は、10 年後の令和 13 年度時点の目標値として定めるが、定期的に達成状況を検証し、必要に応じて見直しすることとする。

◆目標指標

基本理念	目標指標	現状値 (令和元年度時点)	目標値 (令和 13 年度)	算出根拠	SDGs 対応
ゆっくりと安心して歴史・文化・自然が楽しめ、地域も潤う (コンフォタビリティ)	宿泊客数	166,954 人	人	観光統計	
	日帰り・宿泊消費額	日帰り消費額 16,109 百万円 一人あたり 3,846 円 宿泊消費額 2,435 百万円 一人あたり 15,130 円	日帰り消費額 百万円 宿泊消費額 百万円	観光アンケート調査	
	宿泊業地元調達率※	— %	%	観光事業者アンケート調査	
犬山ならではの感動が得られる (オリジナリティ)	観光客満足度 (風景・体験アクティビティ)	— %	%	観光アンケート調査	
	リピート率	— %	%	観光アンケート調査	
犬山人のおもてなしに会える (ホスピタリティ)	体験型メニューの 造成数	17 件	件	観光協会資料	
	体験型メニューの 参加者数	51 人	人	観光協会資料	

※宿泊業地元調達率は、観光客が宿泊に伴い地域の中で消費した金額のうち、地元の素材、地元の労働者など地元へ還元される部分の購入によって消費された額の割合。